

# 私の一文字



副代表幹事  
地方創生委員会 委員長  
**山下 良則**

リコー  
取締役社長執行役員CEO



## 「人」に寄り添う

会員の方が思いを込めて選んだ一字に、書家の岡西佑奈さんが命を吹き込む「私の一文字」。今回は、山下良則副代表幹事・地方創生委員会委員長にご登場いただきました。



**岡西** 人という漢字は人を横から見た象形文字です。山下さんの幼いころのお神輿の記事を拝読した際、「能動的に動くことが大切だ」というお話が印象的で今回、人々が能動的にお神輿を持ち上げるイメージで書きました。

**山下** どんな仕事も実行するのは「人」です。同じ志を持つ人と

一つになれば、どんなことも成し遂げられると信じています。だから、人との出会いに感謝し、コミュニケーションを大切にしよう心掛けて生きてきました。会社と関係のない方との付き合いも大事にしています。

若いころ、私の師である大中寺の和尚から、「一流の人と付き合ってください」と言われました。その言葉通り一流に触れることこそ、学び成長できると思っています。

当社の創業理念の「三愛精神」とは「人を愛し国を愛し勤めを愛す」ですが、「人」から始まっているのが好きなんです。人が仕事をリードするのですし、勤めを愛すのも人が働くわけですから。

また「企業の最大の資産は、社員のモチベーションである」といつも考えています。1995年の英国駐在の体験で感じたことです。当時、従業員約800人の工場を担当していましたが、その中の何人がモチベーション高く仕事をしているかが重要でした。企業の力は人数ではない、総和が力になるとそれ以来思っています。

社員にやる気が出ないのはその人のせいではなく、実は

会社の制度や風土なんです。そういう意味で、会社のトップや幹部のリーダーシップはすごく大事だと思います。

**岡西** 御社は2036年に創立100周年を迎えます。「はたらく」に歓びを」をビジョンに掲げられました。

**山下** リコーが100周年を迎えたとき、もう一度1歳に戻りたいのです。メーカーとしてこれまで積み上げてきたことを残して違う会社にならないといけなと思っています。

私たちは1977年に初めてオフィスオートメーション(OA)を提唱し、半世紀近く一貫して“はたらく”人に寄り添いながら、お客さまの生産性向上に貢献してきました。今後、AIやロボットなどの技術が業務の効率化や生産性の向上を担っていく中で、仕事の価値は人にしかできない創造力をいかに発揮しているかに移っていきます。

私は働き方の変革も進めてきましたが、それは社員が生き生き働く会社にしたいから。自分たちが実践することで、お客さまから「リコーさんになりたい」と思っただけであれば、私たちの提供するソリューションでお客さまを喜ばせ、幸せになっていただけたと思っています。

**岡西** 経済同友会では副代表幹事ご就任前から、地方創生委員長として活動されてこられました。

**山下** 自ら動く地方創生委員会でありたいと思っています。委員会ではここ2、3年、分担して地方へ足を運んできました。地方自治体と企業の協働メニューを七つ出しましたが、一つでも二つでも実現したいと思っています。

書家  
**岡西 佑奈**

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。

